

平成 22 年 9 月 30 日

## 会 告

公益社団法人日本人間ドック学会  
理事長 奈良昌治  
人間ドック判定・指導ガイドライン作成委員会  
委員長 和田高士

### クレアチニン値の判定区分

学会誌「人間ドック」24 巻 5 号（2010 年）巻頭「会告 血清クレアチニンの表示について」において、血清クレアチニン（Cr）の小数点以下 2 桁表示をお願いいたしました。

しかしながら、現行の判定区分（学会誌「人間ドック」22 巻 4 号 2007 年、巻頭、学会ホームページ TOPICS 内）では、小数点以下 1 桁でありました。整合性を保つため、小数点以下 2 桁による血清クレアチニン（Cr）の判定区分を制定し、ここに公表するところであります。

また、血清クレアチニン（Cr）と eGFR の判定においては eGFR の判定を優先させることとします。

項 目		A 異常なし	B 軽度異常	C 要経過観察・生活改善		D1 要治療	D2 要精検
		A 情報提供	B 動機付け 支援	C1 積極的支援 (1) C2 積極的支援 (2)	C2 積極的 支援 (2)	D 受診勧奨	
旧 クレアチニン mg /dL	男性	-1.0		1.1-1.2		1.3-	
	女性	-0.7		0.8-0.9		1.0-	
新 クレアチニン mg /dL	男性	<b>-1.00</b>	<b>1.01-1.09</b>	<b>1.10-1.29</b>		<b>1.30-</b>	
	女性	<b>-0.70</b>	<b>0.71-0.79</b>	<b>0.80-0.99</b>		<b>1.00-</b>	